

## 12月6日(日)2015年第2回日本語能力試験 世界各地で41万人が挑戦！海外の応募者数は1万5000人増加

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、12月6日(日)に、海外65の国・地域の210都市で、日本語能力試験(JLPT)を実施します。この試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験として世界最大規模であり、今年で31年目を迎え、試験を実施する国・都市も年々増加しています。昨年同時期の試験と比べても、海外では1万5000人、日本国内でも2万人応募者が増え、特に海外では、引き続き東南アジアでの増加が目覚しく(18.8%)、関心の高さが伺えます。また、今回は新たに現地からの試験開催の要請を受け、ボスニア・ヘルツェゴビナ、コスタリカでも試験を実施する予定です。

### 2015年第2回(12月)日本語能力試験の概要

- 【実施日】 2015年12月6日(日)
- 【実施都市】 海外65の国・地域、210都市、日本国内45都道府県  
\* 国際交流基金は海外分を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内分を実施
- 【応募者数】 約41万人(海外約30万人/日本国内約11万人)
- 【実施レベル】 N1～N5の5レベル (N1が最も難易度の高いレベル)  
\* レベル毎の認定(合格)の目安および詳細は、ウェブサイト(<http://www.jlpt.jp/>)をご覧ください。
- 【今回初めて試験を実施する国】  
ボスニア・ヘルツェゴビナ(都市:サラエボ)  
コスタリカ(都市:サンホセ)

### 海外の応募者数

29万8,359人 2014年第2回試験より海外全体で5.2%増加 東南アジアでは18.8%増加  
応募者数の上位3カ国・地域および著しく増加率の高かった3カ国は以下の表のとおり。

	国・地域	応募者数(人)	前年比増
応募者数上位3カ国・地域	1位 中国	106,799	-0.3%
	2位 台湾	40,143	6.7%
	3位 韓国	37,084	-1.4%
その他、増加率の高い国	ベトナム	29,357	26.4%
	インドネシア	13,344	16.3%
	ミャンマー	7,218	27.3%

### 試験結果の活用例

- Y 高度人材に対する日本出入国管理上の優遇制度でのポイント付与
- Y 厚生労働省所轄の医師国家試験、准看護師試験等の受験資格認定
- Y 日ベトナムEPA:看護師・介護福祉士候補者の選考基準

**本事業に関するお問い合わせ:** 国際交流基金 日本語試験センター(担当:木村)

Tel: 03 - 5367 - 1021 / E-mail: [jlptinfo@jpf.go.jp](mailto:jlptinfo@jpf.go.jp)

**ご取材に関するお問い合わせ:** 国際交流基金 コミュニケーションセンター(担当:川久保、森)

Tel: 03 - 5369 - 6089 / Fax: 03 - 5369 - 6044 / E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)